

## 山根薫



作編曲家、エレキ箏奏者、ギタリスト、イベントステージコーディネーター。

E S Pエンタテインメント大阪校和楽器スペシャルセミナー特別講師・同プロジェクトリーダー。

Neo-Japanesque band 『凜ひとえ』リーダー、サウンドスケープデザインチーム『薫風・kunPu-』代表。

京都市出身。

母方の地元である京都市に出生から過ごしていたが、父方の地元である山口県萩市～宇部市にて中学高校時代を過ごし、大学進学を機に京都市に戻る。

立命館大学 文学部文学科日本文学専攻 修士課程卒業。

幼少期よりバッハ協会会長である大浦新三氏にチェンバロ・クラヴィコードを師事。また、オーストリア政府よりオーストリア科学技術功労賞、マンハイム大学より名誉教授の称号を授与されているパウル・バドゥラ=スコダ氏に作曲・クラシックピアノを師事する。幼い時分ではあるが、自身の作曲スタイルをこの時期に確立させた。

立命館大学在学中に古文化保存協会会員として、大徳寺黄梅院、真珠庵、弧篷庵等の非公開寺院特別拝観ガイド・文化財保全活動を4年間務めた経験を持つ。

現在は箏のみならず、ギター、ベース、ドラム、シンセサイザー、ピアノ、DTMまで携わるマルチプレイヤーである。その音楽性をもって、仏教の声明からポピュラーミュージックまで幅広いカテゴリーで、幼少よりのクラシック音楽、ロックバンド等の様式を踏まえた上で作曲、アレンジ、プロデュース等の活動を展開。

箏をバンドやポピュラーミュージックに取り入れ、日本文化を海外の方や若い層に広くわかりやすく発

信すべく、ロックバンドと共存可能な箏の音響システムを関西で初めて開発。

平安貴族が愛した日本的美の一つである『雅（みやび）』を、現代の時流を見据えた上で、如何に楽曲として構築、発信するかを意識している。

また、次代の伝統音楽を担う虚無僧尺八や津軽三味線奏者とも密接なタイアップを実施。音響的・文化的にも重厚なコラボレーションを実現させている。

### 主な活動実績

2008年	京都東山花灯路、高台寺にて演奏。
2012年	東本願寺よりの依頼により、清浄楽「正信偈 SHO-SHIN-GE」作曲。 東本願寺親鸞聖人 750 御遠忌に於いて東山浄苑にて世界初演。
2015年	世界文化遺産上賀茂神社 第 42 回式年遷宮奉祝行事にて二度に渡り奉納演奏。 貴船神社奥宮にて演奏。
2016年	世界遺産平城宮跡において平城京天平祭メインステージ出演。 老人ホーム・病院等福祉施設出張演奏を開始。 京都府中丹広域振興局よりの依頼で、イタリア豪華客船コスタビクトリア号おもてなし演奏を務め、翌年もコスタロマンチカ号のおもてなし演奏を務める。 11 月京都・伏見稲荷大社よりロックバンドでは伏見稲荷大社創建以来初となる神賑奉納演奏を拝命。 以降、毎年伏見稲荷大社にて本宮祭での神賑奉納演奏・外拝殿での単独奉納演奏を務める。
2017年	日本舞踊市川流三代目家元 市川千代若氏へ楽曲提供 舞曲「MIRAI」作曲。
2018年	山口県より招聘を受け、山口維新 150 年事業の中核事業である山口ゆめ花博（第 3 5 回全国都市緑化やまぐちフェア）にてメインアクトを務める。 萩・松陰神社にて松陰神社創建以来初となる奉納演奏を務める。 ESPエンタテインメント大阪校にて和楽器スペシャルセミナーを開講し、プロジェクトリーダーとエレキ箏特別講師を務め、後進の教育・育成にも力を注いでいる。

